

## 環境NPO/NGOの課題横断的な連携強化を通じた社会的影響力の向上

活動地域  日本全域

つづける助成  
**3年目**  
知識の提供・普及啓発

市民版環境白書の発刊 **1,000冊**

交流会・学習会への参加者数 **138人**

今年度計画の達成度 **60%**

目標達成度 **65%**



環境省との意見交換会

### 苦労した点と工夫した点

#### ■ 苦労した点

地域の環境NPO/NGOの巻き込み、加盟促進が思うように進まなかった。グリーン連合が目指すところと、地域の団体が求めるところが溝が埋まっていない。

#### ■ 工夫した点

岐阜（不破郡）での交流会に際しては、他の助成金（セブンイレブン財団）の中間支援組織と連携し、集客を図ったところ、100人を超える参加者が集まった。

### 課題

環境NPO/NGO全体として政府、自治体、経済界、マスメディア、国際社会、国民への社会的影響力が弱い。

### 目標

- ①グリーン連合への加盟団体数が増加する
- ②政策決定関係者との定期的な協議の場が増加する

### 活動内容と成果

- 環境問題を横断的なテーマで網羅した「市民版環境白書2019年版」を発刊
- グリーン連合の認知度向上を目指し、地域でのワークショップや講演を骨子とした交流会をさいたま市、岐阜県不破郡で開催
- 政策決定に関わるステークホルダーとの意見交換会を開催（環境省、国会議員・ジャーナリスト、地球環境基金）

環境省や議員などステークホルダーとの意見交換の場は定期化が実現できているが、地域の環境NPO/NGOの加盟が進んでいない。



市民版環境白書2019年版



岐阜（不破郡）での交流会

### 全助成期間の活動を振り返って

2015年6月に団体が設立して約5年が経過した。悪化する環境問題に対して、環境NPO/NGOが団結することで、社会的な影響力を高めることを目指した。NPOセクターと定期協議の場がなかった環境省と、意見交換の場が定期化できたことは成果である。他方、影響力を高めるため、地域に出かけ交流会やシンポジウムを開催し加盟団体の増加を目指したが、地域の団体との間で期待する役割の面で溝が埋まらなかった点は反省点である。

〒101-0041  
東京都千代田区神田須田町2-2-5 CTNビル3F  
（特非）地球と未来の環境基金内  
電話：03-5298-6644  
E-mail：contact@greenrengo.jp  
HP：https://greenrengo.jp/



### 今後の展望

設立から5年が経過し、改めてグリーン連合が目指す社会的影響力を高めるための政策提言活動と、地域のNPO/NGOがグリーン連合に期待する所の溝や意識のずれが見えてきている。団体運営を担う幹事団体の間でも、どこを目指し、何をするのか、やや曖昧になってきている。コロナ災禍の中実現できるか微妙だが、グリーン連合のミッションや立ち位置、方向性など徹底的に議論をする時期であると認識している。